

(発表資料)

2026 年 7 月 29 日
公益財団法人 放送文化基金

2026 年度助成対象（イベント事業部門前期）の決定と募集について

（１）放送文化基金 2026 年度イベント事業部門（前期）助成対象決定

今回の申請の応募総数は 29 件でした。審査の結果、採択された件数は 14 件です。助成金額は、総額 2,244 万円となりました。

多岐にわたる申請の中から、メディア連携の取り組みや地域と連携した取り組み、新規性や実効性、今後の放送文化を展望できる点等が重視され、助成対象が決まりました。

助成対象に決まったプロジェクトは、今年 10 月から来年 9 月までの 1 年間に事業を実施し、報告をまとめることになります。

（２）2026 年度助成対象の募集について

放送文化基金では、毎年放送文化の発展向上に寄与することを目的として、放送に関連する調査・研究、事業に対する助成を行っています。

2026 年度の助成を下記 3 部門で募集をいたします。

○技術開発部門

放送技術に関する研究・開発への助成

○人文社会部門

放送に関する人文・社会科学的な調査・研究

○イベント事業部門（後期）

放送を中心としたメディア文化の向上に資するイベント・事業

詳細は、放送文化基金ホームページをご覧ください。



公益財団法人 放送文化基金
（担当）甲斐、馬越、安部
〒150-0047 東京都渋谷区神山町 9-6
TEL 03-5738-7151

2026 年度助成 [イベント事業 (前期)]

タイトル	申請者	助成金額 (万円)
「地方の時代」映像祭 2026	「地方の時代」映像祭実行委員会 プロデューサー 藤田 貴久 (関西大学客員教授)	150
Media Provenance Summit Japan 2026	Media Provenance Summit Japan 2026 運営事務局 代表 岩城 正和 (NHK 財団 技術事業センター長)	150
改定気象防災情報の検証とよりよい災害報道に向けた勉強会	九州災害情報(報道)研究会 幹事 田中 俊憲 (福岡放送 報道部副部長)	150
災害関連死ゼロを目指して“メディア・自治体・住民”協働の宿泊型避難所訓練とモデル化	関西民放NHK連携プロジェクト 事務局 京田 光広 (NHKエンタープライズ近畿 エグゼクティブプロデューサー)	257
学生と平和を考える 映面上映×トークイベント～ローカル局制作映画に見る映像資料の活用から～	広島ホームテレビドキュメンタリー映画「原爆資料館」プロジェクト 幹事 奥村 大樹 (広島ホームテレビ マーケティングビジネス局編成部部长)	107
小学生向け防災メディアリテラシー教育プログラム	静岡朝日テレビ こども防災プロジェクト 上村 知哉 (静岡朝日テレビ 営業局業務部)	106
ふるさと CM 大賞 2027 スキルアップ講習会(自治体職員対象)	ふるさと CM 大賞 2027 くまもと実行委員会 委員長 細谷 英宣 (熊本朝日放送 地域プロモーション局執行役員)	44
トラウマを理解した取材報道とピアサポーター育成のための研修	トラウマ取材を学ぶ日本のジャーナリストの会 代表 河原 理子 (東京大学大学院 客員教授)	215
報道実務家フォーラム 2026 及びそれに関連する一連の研修イベント	報道実務家フォーラム 理事長 瀬川 至朗 (東京大学大学院 特任教授)	100
富山テレビジャーナリズム勉強会	富山テレビジャーナリズム勉強会 事務局 竹歳 達也 (NHK 富山放送局 コンテンツセンター長)	90

タイトル	申請者	助成金額 (万円)
ドキュメンタリー制作知共有交流基盤事業「聞くドキュメンタリー」	「聞くドキュメンタリー」プロジェクト 代表 金川 雄策 (DDDD Institute 代表理事)	200
ラジオセミナー 2027	玄石 代表取締役 石井 玄	300
放送作家が発信！放送文化の「記録・継承・発展」プロジェクト	放送作家の番組証言アーカイブプロジェクト プロジェクト長 さらだ たまこ (日本脚本家連盟)	95
山田太一資料の保存・活用による次世代放送文化継承プロジェクト	「山田太一のバトンを繋ぐ」会 代表 長谷川 佐江子	280